

# 税金は市民のくらし優先に

宮原 春夫 議員  
(4期・川崎区)



党市議団副団長。借金がふくらむ川崎港コンテナターミナルやフラス物流センターなど臨海部の大規模事業の破たんぶりを毎議会を追及、「税金ムダづかいをやめ、市民のくらし・福祉充実、中小企業の営業こそ支援を」と市政の流れを変え先頭に、「すぐやる宮さん」まちの評判があり、住民の身近な要求も数多く取りあげています。

# 子どもを大切に教育環境へ

西村 英一 議員  
(2期・高津区)



中学校教師「五年」。子どもたちに最善の利益を「国連」子どもの権利条約」を教育現場で生かす立場から、中小学校の免許外教員や過密校（子母口小学校など）の解消、障害児教育の充実や三十人学級の実現、小中学校の教職員欠員の解決を要求。また、海軍通信隊蟹ヶ谷地下壕や橘樹郡衛など文化財の積極的保存も求めてきました。

# 保育園の増設など子育て支援

石田 和子 議員  
(1期・高津区)



保母三十一年の経験をもつ市議へ全国最悪レベルに増えた保育園待機児をなくすため、日本共産党は昨年九月議会に保育園増設などの「抜本的対策」を提案しましたが、この立案は中心的役割をになう。市は今年度ようやく三カ所増設にふみだしました。溝口駅西口商店街の直近に横断歩道・信号の移設を実現しました。

# 経験いかし、市民の医療充実へ

岩田サヨ子 議員  
(1期・川崎区)



看護婦二十七年。地域医療の経験いかしして、がん検診や結核予防など医療の充実、健康づくり支援や公害対策を求めるとともに、この間羽田空港の危険な飛行ルート問題にとりこんでいます。「老人いこいの家」改修や配食サービス利用促進、介護支援など、お年寄りが「長生きしてよかった」とよろこべる地域づくりをめざして全力です。

# 安全な住宅・まちづくりに全力

佐野よしあき 議員  
(1期・川崎区)



大工さんから市議へ、「在宅介護を支えるためにも住宅改修はますます重要」と、経験をもちにして高齢者・障害者への住宅改修助成、耐震診断の拡充を求め、公園整備や歩行者の安全対策など、まちづくりに全力。

# 地域経済の主役は中小企業

ちくま 幸一 議員  
(4期・幸区)



党市議団副長。深刻な不況に苦しむ中小商工業者のくらしと営業と守り、地域経済の活性化をと、市内中小企業・商店街の役員のみなさんとの懇談をすすめて、市議会で打開のための条例を次ぎ提案。「中小企業・商店街への支援策を求める意見書」が全会一致で採択されました。地元では、古市場小学校の老朽校舎がいよいよ改築へ。

# リサイクル・環境対策すすめて

西尾りえ子 議員  
(1期・幸区)



三菱銀行本店勤務「六年から市議へ。母親の目線で、ダイオキシンや自動車排ガス抑制、ペットボトルリサイクルなど環境対策に力をいれています。公約だった南河原中学校へのエアコン設置も約束させ、市営住宅の募集も年一回に、家賃減免制度の普及も。もうあ者相談員の増員や幸区への授産施設整備促進も求めてきました。

# 介護保険の拡充に全力つくす

市古てるみ 議員  
(4期・中原区)



党市議団の「介護保険問題チーム」の責任者として、高齢者施設の視察や調査活動・政策づくり、制度の改善と拡充に尽力。政令市初の低所得者への保険料・利用料の減免が実現しました。地元では待望の玉川地区市民館・図書館分館が来年度オープン予定。小杉駅周辺再開発では、商店街を守り、住民本位をつらぬくよう求めています。

# 老朽校舎の改築・補強工事を促進

徳竹きよし 議員  
(2期・中原区)



高校の元理科講師。「子どもの安全は最優先で、小中学校の耐震補強工事や大戸小学校の老朽校舎建て替えを促進、耐震性貯水槽の増設もすすめました。住民運動で保全された井田山緑地の整備では、財源をともなう管理計画を提案。江川のせせらぎ水路の整備では、商店街と都市農業を結び、「水と緑の回廊」づくりの推進も。

まちの声 ぐらしの声を市政にとどける

# 日本共産党川崎市議団

多彩で元気な14人

市民のみなさんのご支援で14人(市議会第2党)にいただいた日本共産党川崎市議員団は、公約の実現に全力でがんばっています。こんどの6・7月議会でも全員が質問に立ちました。この1年間の一般質問では延べ266項目にわたる市民要望をとりあげてきましたが、その一部をご紹介します。

# 学童保育、障害児(者)福祉の充実

石川けんじ 議員  
(1期・宮前区)



「子どもたちに豊かな放課後を、川崎市の学童保育廃止の動きに反対する父母の運動と力をあわせ、保育時間延長や障害児への配慮など内容の充実もきめ細かく要求。知的障害者グループホームへの支援策や身体障害者療護施設の改善も。また、馬絹、東名インター付近での自動車排ガス測定の強化など環境対策をすすめています。

# 北部市民病院の建設をリード

市村じろう 議員  
(8期・多摩区)



多摩区民の切実な願いだった「北部市民病院」の実現まであと五年。具体的な提案で用地の確保から具体化まで一貫してリード。さらにこの間、地域医療との連携や安心して通院できる「S」ステムを提言しています。管地域へは市有地を活用して保育園が建設されることに。中野島駅の改善や生田地区の市民館・図書館分館整備にも全力。

# 住民本位の登戸区画整理事業を

斉藤たかし 議員  
(2期・多摩区)



登戸土地区画整理事業は「住民合意で促進を」と、地元の代表として住民や商店街の声を聞き、毎議会できめ細かく取りあげています。地域のみなさんと運動してきた宿河原の特養老人ホームはいよいよ今年十二月着工へ。老朽化した東生田小学校の早期改築多摩川河川敷でのスポーツ広場、釣り場の整備にも全力をあげています。

# 緑の保全、住みよいまちづくり

稲本たかし 議員  
(3期・麻生区)



環境問題のエキスパート。みどりの保全策をはじめ、市民農園の充実や都市農業の振興策にも全力。地元住民の願いにこたえたまちづくりでは、新百合丘駅周辺地区の整備や生態系を生かした早野聖地公園の整備柿生地区への市民館・図書館分館の建設や岡上地区の小田急線踏切の拡幅などきめ細かく取りあげています。

# 消費税の増税ストップに全力をあげます

六月の総選挙では、政権与党はあわせて六五議席を減らし、国民のきびしい審判がくだりました。日本共産党は、比例で六七二万票、小選挙区では過去最高の七三五万票をいただき、比例南関東ブロックでは、志位和夫、大森たけしの二名が当選。全体では残念ながら二〇議席にとどまる結果となりました。

政府税制調査会は七月十四日、消費税率アップの必要性をもちこんだ中期答申を首相に提出しました。「消費税増税を許さない」「予算の主役をくらし・福祉中心にきりかえる」「雇用・中小企業など国民のくらしを守るルールを」日本共産党は、国民のみなさんへの公約を実現するために力を尽くします。



衆院議員・党書記局長 志位 和夫



衆院議員 大森たけし



10区(川崎区・幸区・中原区) 笠木たかし



9区(高津区・多摩区・麻生区) 井口 まみ



8区(宮前区・横浜市青葉区) おおば裕子

# 「市民本位の市政 つつけてほしい」と

日本共産党員市長の 矢野ゆたかさん再選



川崎市北部から多摩川の対岸にある東京・狛江市の市長選(6月25日)で、日本共産党員の矢野ゆたか氏(写真)が得票を前回より2倍近く伸ばし、自民・公明・民主の3党がおす候補を破り再選を果たしました。この4年間に、土木費を大幅に圧縮する一方で、乳幼児医療費無料化を就学前まで拡大(多摩27市トップ)、中小企業融資を実績で2.7倍に、都内初となる老齢年金受給者の介護保険料・利用料の全額助成、ホームヘルプ予算の8倍化など、市民生活を充実しながら、市の借金総額を14年ぶりに減らし財政たて直しを軌道に。市政を市民本位にきりかえた、こうした豊かな実績に「共産党だろうが、いいものはいい」と、広範な無党派・市民の支持が寄せられました。